

2025

11月開催

主催：倉敷市PTA連合会

令和7年度単位PTA情報交換会 開催報告



親育ち応援学習プログラム&情報交換

開催日：R7.11.6
会 場：ライフパーク倉敷

幼稚園



倉敷市公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会（以下、市幼・こP）副会長のあいさつの後、和やかな雰囲気の中で単位PTA情報交換会が始まりました。倉敷市親プロチームのファシリテーターの皆さまの進行により、「防災力は想像力！～いつもの生活+αで守ろう 子どもの命と心～」をテーマに、親育ち応援学習プログラムを実施しました。日常の中でできる防災の工夫について改めて考える時間となりました。

約1時間のプログラム終了後には、グループに分かれて情報交換を行いました。特にテーマは設けず、「日頃のPTA活動で取り組んでいること」「うまくいった工夫やアイデア」「困りごとや悩み」など、自由に意見を共有していただきました。予定していた30分では足りず、10分延長しての実施となるほど、活発な交流が行われました。

最後は、市幼・こP会長のあいさつをもって閉会しました。



参加者の声

親育ち応援学習プログラムでは、防災について改めて考える良い機会となり、子どもの「命だけでなく心を守る」重要性に気付かされたとの感想が多く寄せられました。

情報交換の時間では、他園の役員選出方法や仕事内容などの共有が大変参考になったとの声があり、話しやすい雰囲気の中で有意義に交流できたと好評でした。

今後は親自身を大切にするテーマの取り扱いや、防災を継続的に取り上げることを求める意見がありました。全体として「参考になった」「参加してよかった」という肯定的な声が多数でした。

市P連研修・広報部によるワークショップ開催

開催日：R7.11.13
会 場：ライフパーク倉敷

小・中学校
合同開催

市P連会長あいさつの後、和やかな雰囲気の中、ワークショップ形式で単位PTA情報交換会がスタートしました。参加者同士が日頃感じている悩みや課題を共有し、活発な意見交換が行われました。

最後の市P連副会長あいさつでは、役員の仕事として“あいさつ”をする場面が多く、その大変さについても触れられ、会場から共感の声があがりました。



○困りごとを付箋に書く



◎模造紙に貼りながら意見交換



◇グループ発表

参加者の声

参加者からは、少人数での話し合いにより普段は相談しにくい内容も気軽に共有でき、有意義だったとの声が多く寄せられました。学校園に関わらず共通する悩みが多いことを実感し、役員選出の工夫や運営方法など、他校の取り組みを知る良い機会になったという意見も聞かれました。

また、PTA会費の収納方法の課題や、役員の負担の大きさから担い手が減少している現状など、共通の課題も改めて共有されました。

全体として、「今後もこのようなワークショップを継続してほしい」という前向きな声が多く寄せられました。



今後も単位PTAの皆様と連携しながら、より良いPTA活動の実現に向け取り組んでまいります。